

報告日：令和6年2月7日

名 称	鹿沼市子ども・子育て会議
日 時	令和6年2月6日（火）午後1時30分～14時30分
場 所	鹿沼市役所2階 第1委員会室
出席者	委員（敬称略）14名 星順子、小池正純、小野口正子、湯澤光江、金子晃子、永田由美子、植木良充、田島雅哉、青木美智子、清水玲奈、仲田知史、早川勝弘、石川洋一、藤井一夫 事務局 杉山こども未来部長、大貫子育て支援課長、小堀保育課長、飯塚こども・家庭サポートセンター長、福田子育て支援課長補佐兼こども支援係長、江田保育推進係長、竹澤保育認定係長、高橋母子健康係長 欠席委員（敬称略） 廣瀬雅一、栗原森人、佐藤彰彦、細川朋子
内容及び結果	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委員自己紹介 4. 会長及び副会長の選出 星委員を会長に、青木委員を副会長に選出 5. 会長あいさつ 6. 議事 (1) (仮称) 鹿沼市こども計画（鹿沼市子ども・子育て支援事業計画第3期）の策定について 福田補佐が資料に沿って説明 (仲田委員) 計画を策定するにあたり、現計画においても平成31年にアンケート調査を実施しているが、この時はどのように実施したのか。 (福田補佐) 当時は、調査票を郵送し、返信用封筒で返送してもらった。今回は、インターネットを活用し、QRコードを読み取る方法で実施する。 (青木委員) アンケートの内容にヤングケアラーがあるが、対象者がヤングケアラーのことをどれだけ知っているかわからないと思うが、どうか。 (飯塚所長) 昨年度、認知度を向上させるため、条例を制定した。それから約1年周知に取り組んできたが、まだまだ周知不足であるため、今後、ガイドブックを作成し、関係機関に配布するなどして、理解向上に努めたい。 (青木委員) ヤングケアラーについての説明をアンケートに記載したらどうか。 (福田補佐) 設問にヤングケアラーの語句は載せず、「あなたは大人が行うような家事や家族の世話をしていますか」「どのようなお世話をしていますか」など、設問に対する回答から該当するこどもがどのくらいいるか、判断できるような内容としたいと考えている。

	(青木委員) 調査対象のこどもを、小5、中2とした理由はなにか。
	(福田補佐) こどもの貧困対策推進計画策定のため令和3年度に実施した調査において、小5、中2を対象としており、継続してその傾向をみるため、同じ年代とした。
	(石川委員) こどもや青年へのアンケートの量はどのくらいか。
	(福田補佐) 各年代とも多くて40問ほどである。
	(石川委員) 回答にかかる時間が長いと、同じ教室の子から変に思われるようなことはないかと心配している。
	(福田補佐) 学校でアンケート調査を実施するのではなく、学校で調査依頼書を配布してもらい、各家庭で回答してもらうことを想定している。学校で使用しているタブレットを家に持ち帰り、活用させてもらえるとありがたい。
	(星委員) 不登校のこどもや障がいのあるこども、外国語を話すこどもなど、幅広く声が聴けるよう工夫してアンケート調査を実施してほしい。
	(福田補佐) 幅広く意見が聴けるよう、配布方法等検討する。
	(小野口委員) 虐待やそれに近いような家庭もある。虐待について汲み取れるような設問はあるか。
	(福田補佐) 虐待に直結するような設問はないが、子育てに関する悩みについて聞く設問や、子育てに関する悩みを相談する場についての設問は用意している。
	(星委員) 他に質問もないようなので、本内容により進めていくことで良いか。
	(委員) 異議なし
	(2) 保育園等の利用定員の変更について
	竹澤係長が資料に沿って説明
	(小野口委員) 保育士はどこの園でも不足している。また、こどもの数も減少しているため、大きい園は利用定員を調整しないと運営が難しい状況になっている。
	(植木委員) 保育士の確保が難しいことと、利用するこどもの減少のどちらが園の運営への影響が大きいか。
	(小野口委員) 保育士確保の影響が大きい。保育園は国の給付費で運営をしているが、都会に比べると給与が安いので、そちらに流れてしまう。体も使うし、保護者支援も課題になっており、心を病んでしまう保育士もいる。
	(植木委員) うちの園も同じ状況で保育士確保が難しいと感じている。保育士の処遇改善への取り組みは重要だと思う。
	(早川委員) 保育士不足に対し、行政からのバックアップはあるか。
	(小堀課長) 公立保育園においても保育士が集まらない状況である。行政からの支援として、給付費による給与改善や処遇改善に取り組んでいる。
	(杉山部長) 特別保育事業を実施した園に対し経済的支援を実施している。発達に支援が必要なお子さんに保育士を付けた場合などに経済的支援を行っている。

	(早川委員) 次期計画には、それら市独自の支援計画が入るよう要望する。これらの意見を計画に反映してもらいたい。			
	(仲田委員) 発達障がいと診断されるこどもが多くなっている。また、保護者も共働きがほとんどで、保育園の利用を希望している。障害のある園児に保育士の加配ができるよう、市独自の施策を立て、計画に盛り込んでほしい。			
	(小野口委員) 発達障がい児に対し、補助のない市町もある。鹿沼市は補助があるからありがたいが、市独自にさらに金額を増やしてもらいたい。また、鹿沼市に他自治体から保育士が来てもらえるよう、国のメニューにあるアパートの借り上げ事業に取り組んでももらいたい。			
	(小堀課長) 事業の優先順位をつけ、予算確保に努めたい。			
	(星委員) 他に質問もないようなので、本内容により進めていくことで良いか。			
	(委員) 異議なし			
	7. その他 なし			
	8. 閉会			
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 鹿沼市こども計画 (鹿沼市子ども・子育て支援事業計画第3期) の策定について (資料1) ・保育園等の利用定員の変更について (資料2) 			
次回予定	未定			
記録者	福田			
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)				
公開・非公開の別	<table border="1"> <tr> <td>公開</td> <td>・</td> <td>非公開</td> </tr> </table>	公開	・	非公開
公開	・	非公開		
(公開の場合) 傍聴人数	2人			